

2017

8

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

QSK

はじめよう!



CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
日常風景／避難訓練／内部研修報告他	
現場で働くスタッフの声	P 4
かがやきクラブだより	P 4
3月～5月 活動実績	P 5
移動サービス運転者講習会開催案内	P 5
4月～6月 会の動き	P 6
ふるさと納税始めています	P 6
寄附金使途報告	P 7
グループ事業所案内	P 8
脳いきいき健康塾～参加者募集	P 8



ミスト涼しいね! (まちの子ども保育園)



市民生活支援センター
ふくしの家

包括的支援事業の一つである「生活支援体制整備事業」が県内の市町でゆるやかに動きを見せています。この事業はその名のとおり「生活支援の体制を地域に整備していく事業」であり、27年改正の「介護予防・日常生活支援総合事業」の基盤となる大切な事業ということができます。

背景には、人口推計のデータが示されているとおり人口減少の問題があります。その確度はかなり信憑性のあるもので、何もしなければ、2040年には人口が3分の1にまでに減少し、且つ、人口割合の3分の1は65歳以上、子どもの数より後期高齢者の数が増えることが見込まれています。ほとんどの市町ですでに人が減り始めていますが、この待ったなしの状況から国の使う言葉も「総活躍」とか「丸ごと」とか、あるいは「混合介護」とか「地域共生」など、地域の体制づくり（住民参加型の地域づくり）を総動員でやらなければこの難局は乗り越えられないことを表現しはじめています。

団塊の世代の子ども世代は、子どもをあまり生みませんでした。子どもをたくさん生まなくても、ちゃんと成長できて子どもたちが死なずに済む医療が充実し、喜ばしい反面少子化の一つの要因になっているともいわれています。今からたくさん子どもを生んでも生産年齢人口になるのは15年後、20年後ですから、これから担い手はどんどん減る一方ということになります。これはかなり深刻な問題です。人口が増えていくのを前提として事業活動や地域活動は成立してきたわけですが、これからは人口が減ることを前提に物事を考えていかなければなりません。これまでとは発想を180度変える必要があります。そうはならないだろうと傍観し、いままでと同じ発想で取り組むことは大きな危険を生むかもしれません。

生活支援体制整備事業は始まったばかりですが「体制が少し整った」というまでにもかなり時間を要します。「地域の縮小」が懸念される中、地域の実情を理解しまとめることで、やりようによっては「地域の縮充」を図れる事業ともいえます。また、ずっと続いていく事業であり急いで無理にやってもうまくいきません。地域住民を中心に、行政・事業者が腹を割って地域課題について話し合える場づくりやそのプロセスがとても大切であることは、すでに先行自治体の取り組みから明らかになっています。根気と時間のかかる地味な作業ですが、この取り組みで現れる成果を期待したいものです。

代表 江口 陽介



お見舞いもうしあげます。 猛暑の中、みんな元気です。

当分は暑さが続きますので、皆様くれぐれもご自愛ください。



九州北部豪雨災害により被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私たち佐賀市もこれまで経験したことのない夜半の雷と降り続く大雨に不安な一夜を過ごしました。

私たちにもできること。募金やチャリティイベントへの参加や、被災地へ出向き頑張って営業されているお店を利用する。

毎年たくさんのひまわりが咲きほこる道の駅原鶴も大変な被害の中、ひまわりの播種(たねまき)を始められました。

9月には例年同様ひまわりフェアが開催されますように... ぜひ、見に行きたいと思います。



ゆめさが大学地域活動相談会に参加しました!



ボランティアになって障害者の方のサポートを
してくださる方が一人でも増えますように...

6月に県内3ヵ所(ゆめさが大学唐津校大学院・ゆめさが大学
佐賀校・ゆめさが大学鹿島校)へ出向きパソコンボランティア募集
の説明会を行いました。全体でのプレゼンテーションの後クラス毎
にもお話をすると各校とも「どんなサポートをするのですか?」「
パソコンは少しできるぐらいだが...」他積極的な質問をいただき
みなさんの元気とパワーをいただいて帰りました。

佐賀県障害者 ICT サポートセンター
ゆめくれよん+
☎ 0952-36-6977

合同避難訓練

H29年6月27日

まちのホーム循環誘・グループホームじゅんゆう寮・ケアホームふくしの家

今回は地域の協力者様1名とホー
チキ佐賀から1名の協力を得て利用
者様8名スタッフ10名、夜間の想定
での避難訓練を実施しました。

<気づき・反省>

これまでは台所からの出火を主に
訓練を行っているが天災や電気系統
からも火災は発生するので、あらゆる
状況に対応できる心構えで人命を尊
重した訓練を行うことが大切だと思
った。次回の訓練は上記を踏まえ実施
する。今後は火災だけではなく災害に
も対応できる避難経路を確認してお
く。実際の火災や災害で人命を守る為
には地域の皆様の協力が絶対的に必
要である。(防火管理者 副島)



内部研修報告

平成29年5月18日 / ふくしの家事務局会議室 / 18:30~19:30

社会保険労務士の横尾智子さんを講師にお迎えし、ふくしの家内部研修を行いました。



①給与明細から見る社会保険と労働保険 ②入社時、採用者への確認事項
③退職の手続き ④よくある質問 最後に質疑応答

今回は「事業所における労務管理等について」という内容だったので参加
者も管理者中心になりました。パート勤務者は扶養の範囲内で働きたいとの
要望が多いので収入の限度額を把握したうえでの勤務表作成が必須という
ことや、事業所として入退社の手続きにかかわることもある等、今回の研修
内容を今後の業務に役立てたいという意見があがり、勉強になったよう
です。横尾先生、ありがとうございました。

託児所しゅーくりーむで働き始めました

まちの子ども保育園 矢川 和代

15年ぶりぐらいに、会報への依頼がありました。正直、こんなにここで世話になるとは思っていま
せんでした。なので、まさか会報をまた寄稿するこ
とになるとも思っていませんでした。

「まちの子ども保育園」の最初の頃は「託児所しゅーくりーむ」です。24歳で入社した私は、右も左
もわからず、また「託児所しゅーくりーむ」もまだ
まだ開拓途中でとにかく毎日現場をこなすことで精
一杯でした。「託児所しゅーくりーむ」はどんなお子
様でもできるならお預かりをするとい
うモットーがあり、本当に様々なお子
様が託児に来ておりました。日中の利
用では、就学前までの定型発達をする
健康なお子様がいる中、3歳の自閉スペクトラムの
お子様が毎日来たり小学生のダウン症のお子様や、
私より体の大きな、20歳前の重度の知的発達を持
たれるお子様も利用されたり、また中には大病を
抱えてのご利用で、その後亡くなられたお子様もい
らっしゃっていました。定型外発達をするお子様だ
けでなく、労働時間の不規則な保護者の方のお子様
多く利用されていました。とてつもなく朝早くや、
夜遅くを希望される保護者の方たち。数日の研修の
ため、幼稚園⇄託児所の送迎と、泊まりを希望され
る保護者の方など。あの時、「託児所しゅーくりーむ」



を利用されるお子様の保護者の方々はお子様の受け
入れ先を探すことに必死だったように感じます。

アツという間の一年でした。そうこうしているう
ちに第一子ができ、それに合わせて退職することに
なり、「ああ、ここでのお仕事も終わったなあ」と感
慨深く感じたことを覚えています。ところが、子ど
もが生まれてふらりと遊びに
行くと、また声をかけてもらい
今度はパートとして働くこと
になりました。そして数年後再
び職員として働き始めました。
ご縁があったのでしょね。

15年以上の間に多くのお子様が巣立ち、スタッ
フの方々も様々な方が出入りし「託児所しゅーくりー
む」も「まちの子ども保育園」と総称名称が付くよ
うになりました。スタッフが代わり、来られるお子
様の顔ぶれは変わっていきませんが、根本的なニーズ
は変わらないようです。あいかわらず園には困った
を抱える保護者の方々がお子様の受け入れを求めて
訪れて来られます。

私は年をとり、年々複雑化する現状によりよく対
応している状態ですが、どんなお子様にも気がつけ
ば情がわき、何とか困ったを解消してあげたいと思
ってしまいます。うまく対応できる時もあれば、難
しく感じる時もあります。それでも、どうにかでき
るなら何とかしてやりたいという気持ちを抱え、未
だ毎日過ごしています。

PS. でも そろそろ次の世代に移るかも…?
後5年もすれば我が子も20歳です。



『どんな洗練された大人の中
にも、外に出たくしょうが
ない小さな子供がいる。』

ウォルト・ディズニー

何かに興味や好奇心を持つ
ことは、小さな子供の頃の
生命力に溢れた力に繋がる
手掛かりです。



「楽しい」と思いながら毎日
を過ごす、仕事や子育ても。
それが元気の種であり、いつ
か花を咲かす基となるでしょ
う。



かがやきクラブだより

2017. 夏

七夕飾りの製作がんばりました♪
そして、子ども達それぞれの個性
あふれる飾りができました。
誕生会では子ども達も歌います。
かるた取りをしているのは日常の
風景です。これからが夏本番!!
暑い日が続きますのでスタッフ一
同熱中症にも気を配り乗り越えたい
と思います! (責任者 北原)



会 の 実 績

訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
介護輸送	1,077	951	1,006	773	677	710
身体・生活	171	163	182	147	122	106

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
開所日数	31	30	31	31	30	31
実利用人数	22	19	21	29	29	29

ふくしの家
活動実績
3月～5月

住宅型有料老人ホーム

福祉有償運送

ささえあい(循誘地区)

	ケアホーム				ふくしの家				ふくしの家		
	3月	4月	5月		3月	4月	5月		3月	4月	5月
開所日数	31	30	31	実利用人数	2	3	2	買い物	1	1	1
実利用人数	22	21	22	延回数	26	24	22	その他	0	4	1

障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん+			
	3月	4月	5月
ボランティア派遣	61	6	7
パソコン教室	0	0	8
ボランティア養成	4	0	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	11	0
ふくしの家パソコン事業	33	11	22

子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	3月	4月	5月
開所日数	22	20	19
児童発達支援	130	72	69
放課後等デイ	1	10	4
開所日数	31	30	31
一般保育	210	173	151
開所日数	22	20	19
小規模保育	178	81	97

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジクラブ			かがやきクラブ		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月
開所日数	22	23	22	25	23	23
利用人数	114	95	85	167	169	194

来ん家(循誘地区)

	ふくしの家		
	3月	4月	5月
開所日数	1	4	3
実利用人数	23	30	28

6月4日(日)開催の佐賀県地域共生テーション連絡会総会記念講演会「共生社会に向けた事業者の役割～新しい介護保険のはじまり～ 医療経済研究機構/服部真治氏(元厚生労働省老健局振興課兼課長補佐)」では83名の方にご参加いただきました。最初に、佐賀県福祉課の瀬戸口健司様、佐賀市からは高齢福祉課の江頭健司様の両課長様からご挨拶をいただいています。講演会の内容は、多くの事業所ではじめて聞くという方も多く、来場の方からは危機意識が強いというご意見も聞かれました。

たくさんのご来場誠にありがとうございました。

佐地共連総会及び記念講演会の様子
(アバンセ 4F 研修室)



受講者募集中

次回

移動サービス認定運転者講習会
(国交省大臣認定)

9月16日(土)～9月17日(日)

お申込み受付いたします

☎ 0952-36-6865



会の動き

- 7日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 12・13日 さわやか県レベル担当者会議/東京 (江口)
 14日 佐賀市第2層生活支援コーディネーター研修会 (江口) まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 17日 ふくしの家事務局会議 18日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会 (江口)
 19日 佐賀県地域共生ステーション中部ブロック会議講師 (江口)
 20日 大川市第2層協議体勉強会 (江口)
 21日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 25日 まちのホーム医大前運営推進会議 誘運営会議 大川市第2層協議体勉強会 (江口)
 27日 佐賀県生活支援コーディネーターコア会議/市役所 (江口) まちのホーム医大前会議
 28日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)



- 2日 医大前運営推進会議
 8日 循誘校区まちづくり協議会総会/循誘公民館 (江口) 9日 ふくしの家ホームヘルプ会議
 10日 循誘まち協福祉部会/循誘公民館 (江口) 11日 認知症介護指導者会議/県庁 (江口)
 12日 佐賀県生活支援コーディネーター連絡会/メート (江口) まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 ふくしの家理事会
 13日 有田町ボランティア連絡協議会講話 (江口) 佐賀政経フォーラム/唐人茶屋 (江口)
 16日 大川市第2層協議体勉強会 (江口)
 18日 訪問介護・小多機集団指導/ハンギー 江北町講話 (江口)
 内部研修「事業所における労務管理等について」横尾智子先生
 19日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内) ふくしの家事務局会議
 23日 認知症施策検討会ファシリテーター/ほほえみ館 (江口)
 25日 有料老人ホームに係る説明会/メート (江口・副島) まちのホーム医大前会議
 26日 佐賀市介護予防講演会 佐賀市第1層協議体 (江口) まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内) 循誘運営会議
 28日 大川市第2層協議体勉強会 (江口) 29日 循誘地域ささえあい会議 (紺屋町)
 30日 たすけあい食堂オープン見学/柳町 大川市第2層協議体勉強会 (江口)



- 1日 地域包括ケア推進アドバイザー/神埼市 (江口) 2日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 4日 佐賀県地域共生ステーション連絡会総会・記念講演/アバンセ
 5日 脳いきいき健康教室開校式/大和老人福祉センター (横尾)
 6日 地域包括ケア推進アドバイザー/江北町 (江口) 脳いきいき健康教室開校式/川上校区公民館 (横尾)
 7日 認知症介護指導者講師/けやき荘 (江口)
 8日 認知症支援推進員座談会 (緒方) 循誘まち協福祉部会 (江口)
 9日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 10・11日 移動サービス認定運転者講習
 13日 地域包括ケア推進アドバイザー/有田町 (江口) 地域包括ケア推進アドバイザー/大町町 (江口)
 14日 佐賀青年会議所市民活動団体交流会 (緒方) ふくしの家事務局会議
 16日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内)
 19日 佐佐共連中部ブロック会議 20日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会 (江口)
 23日 循誘おたのしみ会体操指導/循誘公民館 (山ノ内) さが福祉移動サービス・ネットワーク総会
 24日 循誘おたのしみ会体操指導/循誘公民館 (山ノ内)
 27日 循誘運営会議 28日 体制整備事業講話/嬉野市吉田 (江口)
 30日 まちの居場所来ん家体操教室 (山ノ内) 認知症サポーター養成講座講師/第1生命佐賀支社 (江口)



あなたの意志をふるさとに ふるさとチョイス
<https://www.furusato-tax.jp>

TOP → 地域でチョイス → 佐賀県の自治体 → NPO 支援 → ふくしの家
 こちらでの応援も受け付けております。よろしくお願い致します。



【寄附金使途報告】

皆様方から応援して頂きました寄附金 (平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月)
597,595 円の一部を以下の通り使用させていただきましたのでご報告致します。

福祉車両購入の一部代金として・・・381,190 円
まちの子ども保育園遊具代金として・・・89,580 円



残金 126,825 円はまちの暮らしステーション来ん家のエアコン設置を
予定しています。

本会では非営利活動をさらに充実してまいりますので、今後とも応援
よろしくお願い致します。ありがとうございました。

ありがとうございます
心より感謝いたします



眞崎自動車様 リコージャパン(株)佐賀支社様 吉田美津代様
木下 京子様 岩谷 チエ様 北川 博一様 吉田 正昭様
原田 京典様 吉川 節子様 山口 信義様 山口 治美様
小林 良輔様 スマイル・トマト様 丸福精肉店様
末次 俊夫様 江口 勝美様 (株)メデイカルクリエイト様
江口 眞知子様 杠 スマ様

【賛助会費及び賛助寄附】

平成 29 年 1 月～平成 29 年 6 月受付まで

平成 29 年度佐賀県地域支え合い担い手養成事業

佐賀地区 「第 1 回 地域ささえあいヘルパー養成研修会」 受講者募集中

地域ささえあいヘルパー養成研修会は、地域活動をはじめの基本的な知識や技術を
学べる研修会です。みなさまのご参加をお待ちしています。

8 月 26 日(土) 9:00～14:20 メートプラザ

8 月 27 日(日) 9:00～13:20 ほほえみ館 受講費は無料です

定員 20 名 先着順のため申し込みはお急ぎ下さい！！

お問い合わせ 佐賀県地域共生ステーション連絡会 ☎952-36-6865



www.kidukai.com > 木づかいの町 > 木育紙芝居～ぼくのなまえはロボッキー

「木育」は幼児期から原体験としての木材との関わりを深め、豊かなくらしづくり、社会づくり、そして森づくりに貢献する市民の育成をめざす活動です。当紙芝居は「木育」の指導者が幼児を対象とした活動を行う際のツールの一つとして、木のよさ、木の楽しさ等を伝えていただく目的で制作しました。紙芝居を使用する場面としては、子ども向けのイベント会場、保育園や幼稚園などを想定しています。

ご挨拶

御入会したにもかかわらず、さわやかな風が心温かい日々が続いております。みなさまの健康状態も続々よかであることを喜びつつ、5月よりグリーンクリニックの院長となりました崔(ちん)がご挨拶をさせていただきます。

私は1993年3月に佐賀医科大学(現佐賀大学)医学部を卒業後、佐賀大学付属病院・総合診療科に入局し、内科系を中心にさまざまな内臓に付随する総合診療科としての経験を積んでまいりました。これまでは病院での外来・入院を主とする診療科でしたが、これからは病院を飛び出し、地域でのみなさまの元へ赴き、より一層の健康増進のお手伝いができるよう努めてまいります。これからもグリーンクリニックは、スタッフ一同心を合わせて地域医療の発展に努めてまいります。また、新たな目標として、施設での音楽イベント開催など音楽療法を取り入れた新しい医療を目指します。今後ともグリーンクリニックをよろしくお願い申し上げます。

平成28年8月10日



理事長 崔承彦

崔先生

よろしくお願いします

医療法人 R&A グリーンクリニックにはもう 15 年ほど協力医療機関としてご支援いただいております。福田先生の後任に、新しく崔先生がグリーンクリニックの代表者となられ、引き続きまちのホーム医大前及びまちのホーム循環の協力医療機関としてご支援いただきます。今後ともよろしくお願い致します。

伊東 千エ子様 平成 29 年 6 月 29 日

おくやみ

スタッフ一同、心より
ご冥福をお祈り申し上げます

事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-37-5102
- まちのホーム循環【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぶりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】
託児所しゅーくりーむ【佐賀県認証保育施設】
佐賀市大財6丁目4番4-66号/電話0952-22-3744
- まちのホームひかり【通所介護】現在休止中
佐賀市光一丁目9番17号/電話0952-41-8422
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F/電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局 / 佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局
脳いきいき健康塾【佐賀市一次予防事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジクラブ」/電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」/電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】/総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F/電話0952-36-6113
- まちの居場所来ん家
佐賀市紺屋町1番14号/電話0952-36-6865



シニア世代のための
「脳いきいき健康塾」
参加者募集!

東北大学の川島隆太教授 医学博士の
研究により専門的に開発された教材
を使用した教室です。空きがあります
ので9月末まで随時募集しています。

■対象 65歳以上で毎週1回の参加
と自宅学習 10分程度ができる人
※要介護認定を受けた人は除く

■期間 6月〜平成30年3月

■時間 毎週1回 40分

※会場により開催時間が異なります。

■場所
大和老人福祉センター 丹曜午前
川上校区公民館 火曜午後

■内容 週1回の教室で仲間との
楽しい会話と学習 読み書き・
簡単な計算を行います。

教室のない日も毎日10分程度で
できる自宅教材をお渡しします。

■料金 月額2,000円(教材費)

■申込み問い合わせ
佐賀市役所 高齢福祉課
介護予防係
40 7256
ふくしの家事務局
36 6865

はじめよう! 8月号

【編集/印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F

TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail fukusinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>



【発行】 九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-16-1 毎日福岡会館7F

TEL (092) 753-9722 FAX (092) 753-9723

〔定価 100円〕

【購読料は会費等を含む】

※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。